

学習課題（小学校3年生）

【社会】



<学習内容>「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」

◆市の様子と人々の暮らしのうつりかわりについて、^{きょうかしょ}教科書122～141 ページや^{ちずちよう}地図帳、学校で使っている^{しりょう}資料などを^{さんこう}参考にして取り組みましょう。

- (1) 教科書 122～123 ページのまちの様子のうつりかわりの絵を見て、三つの時期とまちの様子を比べて、どのようにかわってきたか、気付いたことを取組シートやノートに書きましょう。
- (2) 札幌市の様子のうつりかわりについて考えます。(しりょう)「札幌市の公共交通のうつりかわり」を見て、つぎの①～③について、自分の考えを取組シートやノートに書きましょう。
 - ①家や店が多い所はどのようにかわりましたか。
 - ②公共交通の広がりはどのようにかわりましたか。
 - ③札幌市の人口はどのようにかわりましたか。
- (3) 札幌市の交通や土地の使われ方のうつりかわりについて、下の() にあてはまる言葉を からえらび、書きこみましょう。

- ・今から70年ほど前には、バスのほか、鉄道や路面電車が市民の移動手段の中心でした。1972年の札幌オリンピック開きを前に、1971年には(①)が開通するなど、公共交通が広がってきました。
- ・まちが広がり、公共交通が広がることで、札幌市の人口もふえていきました。また、(②)に通路をつくるなど、土地の使い方をくふうするようになりました。
- ・70年から60年ほど前は、(③)として使われていた土地にも、時代が進むにつれて、(④)や店が広がっていきました。

タクシー 地下鉄 家 お城 地下 田や畑

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この單元では、札幌市の様子と人々の生活が、時間の経過に伴って、移り変わってきたことについて学習します。保護者の方から昔の市の様子や生活の暮らしについて話をしていただけだと、学習をより身近に感じられるようになります。

